

算数オンライン塾 7月23日の問題 解説

(解説)

(1)

子ども	4、4、4、4、…、4、	4、4、4、4、…、4
大人	2、2、2、2、…、2	

子ども	6、6、6、6、…、6、	6、6、6、6、…、6
大人	3、3、3、3、…、3	

ということなので、子どもが大人と同じ人数だけいるとして、1人に $4+2=6$ 個ずつ配ると $4 \times 11 + 19 = 63$ 個あまります。一方、1人に $6+3=9$ 個ずつ配ると $6 \times 11 - 15 = 51$ 個あまります。

したがって $63 - 51 = 12$ が全体の差。 $12 \div (9 - 6) = 4$ 人が大人の数ですから、子どもは $4 + 11 = 15$ 人います。

(答え) 15人

(2) あめの数は $4 \times 15 + 2 \times 4 + 19 = 87$ 個です。

$A \times 15 + B \times 4 = 87$ で、 $A > B$ という条件になります。

1の位が7ですから $B=3$ のとき $A=5$ が当てはまることがわかります。

これ以外にはないので、答えは子どもが5個、大人が3個です。

(答え) 子ども5個、大人3個